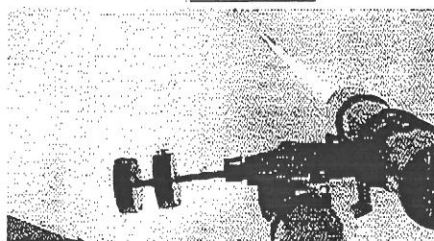


2005年(平成17年)7月8日(金曜日)

日経産業新聞

8



すばる望遠鏡の解像度

レーザーで5倍に

と 研 理
台 立 国

理化学研究所と国立天文台は、同天文台ハワイ観測所の「すばる望遠鏡」に、オレンジ色のレーザーを大気照射する実験の様子（理化学研究所提供）

理化学研究所と国立天文台の解像度を従来の五倍に高めるレーザーを開発した。レーザーを高強度の約百キロの高層大気に照射して光点を発生させ、これを利用して大気の揺らぎによる画像のぼやけを解

消する。二〇〇七年三月から試験観測を始める予定。開発したレーザーは二種類のレーザー光を混ぜ合わせて、波長が五百八十ナノメートル（ナノは十億分の一）の明るいオレンジ色の光を発生するようにしてある。このレーザーを上層大気に照射すると、大気層に含まれるナトリウムがレーザー光を受けて星のように輝く。この人工的な光を利用することで、大気の揺らぎの影響でぼやけた画像を補正できるという。今年秋にレーザー装置をハワイ観測所に移してすばる望遠鏡に取り付ける準備を進める。